

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 (教育学)	氏名	張 暁 領
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
<p>論 文 題 目</p> <p style="text-align: center;">中国における小学生を対象とした「食育」に関する研究 —民間プログラム「食育推進計画」の食育活動の改善に着目して—</p>			
<p>論文審査担当者</p> <p style="text-align: center;">主 査 教 授 鈴木 明子 審査委員 教 授 今川 真治 審査委員 教 授 村上 かおり</p>			
<p>〔論文審査の要旨〕</p> <p>「食育推進計画」は、中国の学校教育における地域課程の一環として展開されている食育を、民間プログラムとして支え、全国で活動を続けている組織である。本論文は、その組織体制と活動成果について、活動の視察、活動に参加した小学生、保護者及び教員への調査、及び資料や教材の分析を通して明らかにすること、また、その指導内容、指導方法、教材開発や教員育成の課題を分析し、今後の活動改善への示唆を得ることを目的するものである。</p> <p>論文の構成は、次のとおりである。</p> <p>第1章では、中国における「食育」の理念について諸子の教えから現代にいたる経緯の中で整理し、現状と課題を関連文献から明らかにした。また、中国国内及び日本を中心とした海外の食育に係る先行研究を分析し、子供の食生活の現状と課題を整理するとともに、小学校、小学生に焦点を当てて、食育実践の現状と課題について論じた。</p> <p>第2章では、中国の食育関連教科、日本の家庭科及び給食の時間における食育指導に焦点を当てて、両国の関連資料からそれぞれの食育の実態と課題を明らかにした。また、「食育推進計画」の教科書と、日本の家庭科教科書の指導内容、及び「食育推進計画」の教員研修活動と、日本の家庭科教諭、及び栄養教諭の養成プログラムを文献に基づいて整理した。</p> <p>第3章では、「食育推進計画」の食育課程の実態と課題を明らかにするために、中国河南省新県の光彩実験学校の小学生及びその保護者を対象とした調査を行い、学習実態及び「食育推進計画」の指導成果を分析し、課題を整理した。「食育推進計画」の活動は、食生活を総合的に捉えて技能習得や態度形成も含む能力育成を目指す教育支援であり、光彩実験学校の取り組みは、それらの一展開例として、確実に実施されていることが確認できた。その活動を通して、児童の朝食摂取や間食の摂取等の食習慣の改善や、児童や保護者の食生活への意識の変化がみられ、児童や保護者への技能習得の支援の必要性や重要性が示唆された。</p> <p>第4章では、「食育推進計画」の食育教員育成の実態と課題を明らかにするために、中</p>			

国河南省の小学校食育教員を対象とした調査を行い、小学校教員の研修活動の実態、彼らの食育実践、及び授業の実態を分析し、研修成果と課題を整理した。教員たちの多くは児童の食生活への興味・関心に添った指導方法や内容を重視するべきであると考えていることを捉えることができた。一方、調理実習は講義形式の授業とは異なる指導の工夫や留意が必要である点で、教員へのさらなる指導が必要である。

第5章では、「食育推進計画」の食育活動の改善への示唆を得るために、小学生と保護者を対象とした食育課程改善の試案、及び教員育成プログラムの改善の試案を提示した。

本論文は、次の3点で評価できる。

1. 「食育推進計画」による小学校における食育支援活動や教員研修活動の実態や成果を視察や調査により明らかにし、その実態と課題を捉えたことは、今後の中国の食育研究や食育実践、及び食育を担当する教員の育成プログラムの構築に示唆を与えるものである。
2. 本論文において視察や調査を通して得られた知見は、「食育推進計画」自体の今後のカリキュラム、教材開発、及び組織運営の改善に示唆を与えるものである。さらに、その食育の理論と実践の課題を探ることは、中国の全国の小学校において、健康教育を支える食育を推進するための教育課程の構想、構築のために活用することができ、食育の全国的な推進に寄与するものである。
3. 小学校における食育活動の成果を実証的に明らかにし、他国の食育の展開から示唆を得たことは、学校教育における食育の意義を伝え、その普及を促進することにつながり、中国の食育の課題の解決、関連の教科理論や専門性の充実、実践への支援に寄与し、当該分野の研究に有効な示唆を与えるものである。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（教育学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

令和 6 年 2 月 8 日